

単元名 バレーボール（第6学年）

運動の特性

2チームで、相手コートに何回ボールを落とせるかという競争を通して、得点を競い合うことが楽しい運動である。攻撃時には、いかに相手コートにボールを落とすか、守備時には、チームで連携していかに自コートでボールをつなげるかということに楽しさを感じる運動である。

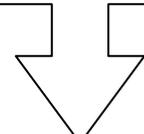
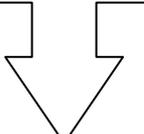
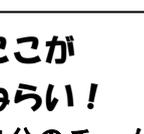
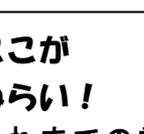
1 単元の目標

技能	・簡易化されたゲームで、チームの連係による攻撃や守備によって攻防ができるようにする。
態度	・運動に進んで取り組み、ルールを守り助け合って運動をしたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。
思考・判断	・自分のチームの課題をとらえ、得点に結びつくような動きを考えて、めあてを立てることができるようにする。

2 2年間を見通した評価計画

	第5学年		第6学年	
	評価規準	具体的な児童の姿	評価規準	具体的な児童の姿
技能	・攻撃や守備によって攻防することができる。	○自分のコートにボールを落とさないようにしている。 ○相手のコートにボールを落とそうとしている。	・チームの連係による攻撃や守備によって攻防をすることができる。	○相手のコートにボールをたくさん落ととしている。 ○自分のコートでボールをつないで、連係している。
態度	・運動に進んで取り組み、ルールを守り運動したり、場や用具の安全に気を配ったりしようとしている。	○ルールを守って練習やゲームにすすんで取り組んでいる。 ○安全に配慮して準備・片付けをしている。	・運動に進んで取り組み、ルールを守り助け合って運動したり、場や用具の安全に気を配ったりしようとしている。	○ルールを守ってチームで声をかけあい、練習やゲームにすすんで取り組んでいる。 ○安全に配慮して協力しながら準備・片付けをしている。
思考・判断	・得点に結びつくような動きを意識して試合をしている。	○得点に結びつくような動きを意識してめあてを立てている。	・個人やチームの課題をとらえ得点に結びつくような動きを意識して試合をしている。	○個人やチームの課題をとらえ、改善するめあてを立てている。

3 学習過程（全8時間）

		知る・試す		慣れる・広げる			深める		
時		1	2・3	4	5	6（本時）	7	8	
学習過程の工夫		学習の進め方を知る		個人やチームの課題をとらえて、試合をする			個人やチームの課題に合わせた作戦を立て、試合をする		
		集合・整列・あいさつ・準備運動・ウォーミングアップ							
		①オリエンテーション ②ためして遊ぶ。	①M ゲーム<1> ②T 振り返り ↓ 作戦 ↓ 練習	①M ゲーム<1> ②T 振り返り ↓ 作戦 ↓ 練習				①リーグ戦	
		振り返り・整理運動・あいさつ・片付け							
ゲーム設定の工夫		攻撃 ①サーブはコート内の所定の場から弾く。 守備 ①最初は、レシーブのみ3秒以内ならキャッチしてよい。 ②同じ人が続けて弾いてはいけない。 ③必ず3回で返さなくてはならない。 ④2番目の人は、ネットを背にして真ん中に立たせる。 ※ボールは、キッズバレーボールを使用する。 ※アタック・レシーブ・トス・ブロックは手で弾く。アンダー・オーバーを意識させる。 ・「はげましボイス・おたすけボイス」を設定する。（8時間目まで） ※タブレット端末を資料的に提示し、客観的に自分や友達の姿を見せたり、インストールした教材を見せたりする。（T 振り返り時 3時まで）		・話し合いや練習時間を与える。 ・運動の特性に視点を向けやすいワークシートを使用する。 ※タブレット端末→自分のチームの攻撃や守備の振り返りに活用する。（T 振り返り時 7時まで）			・互いのゲームを見取り、記録をさせる。 ・振り返りの時間に、作戦ボードを活用させる。		・これまでのチームの課題解決や、自分のチームの特徴を生かして試合をする。
		ここがねらい！ ボールを相手コートに落としたり、自分たちのコートでつないだりさせ、得点を競い合うことを楽しませる。 ※タブレット端末 →技能の高まり		ここがねらい！ 学びあいの時間を増やし、個人やチームの課題をとらえてチーム力の向上を図らせる。 特性を踏まえた練習を考えさせる。 ※タブレット端末→チーム力向上			ここがねらい！ 自分のチームの課題や特徴をとらえ攻守を考えさせる。「守備位置・配置変更」や「多様な攻撃パターン」などチーム力向上につなげる。		ここがねらい！ これまでの学習を生かし、チームのよさを生かした作戦（守備位置・配置、多様な攻撃パターンなど）を考えて、ゲームを楽しませる。
									
									

6. 教師の指導・助言 (○：評価規準に達していない児童 ◎：評価規準以上の児童)

観点	学習状況	だれに	助言例
技能	相手のコートに落とすために	サーブが狙ったところにかかない	個人 ○狙ったところに体を向けよう。 ◎落とす場所をきめているね。
		アタックにつながるトスがあがらない	個人 ○ネットを背にして真ん中に立ってボールをもらおう。 ○アタッカーの動きをよく見て、トスをあげよう。 ○ボールは、頭の上より高くあげよう。 ○目印(例：ギャラリーの柵)を決めてトスをあげよう。
		アタックができない	個人 ○空中でキャッチする練習をしてみよう。 ○「ハンザイ」した手先の少し前で打ってみよう。 ○手のひらを上にして腕を振り抜こう。 ○タイミングを合わせるために1・2の3で跳ぼう。
	自分のコートに落とさないために	キャッチング(レシーブ)ができない	個人 ○腰を落としてボールの下に入ろう。 ○足を絶えず動かそう。 ○とんでくるボールの方に体を向けよう。 ○落ちてくる場所を予測しよう。 ○両手を伸ばして、キャッチと同時に腕を引こう。
		かたまって守備をしよう	チーム ○隙間をなくそう。 ○後ろのスペースが空かないようにチームで声をかけあおう。 ◎相手に合わせて守備位置を変えていいね。
		自分のコートでボールがつかない(ボールがキャッチできない)(ボールが投げられない)	個人 ○あわてずにゆっくりボールを弾こう、投げよう、もらおう。 ○腰を落としてボールをもらおう。 ○い〜ち、に〜、さ〜んとチームで声をかけよう。 ○投げるチームメイトの位置を前もって確かめよう。 ○最初は投げる人に体を向けてから投げよう。

		ブロックができない。	個人	○アタックする人の正面に立とう。 ○両手をまっすぐ上にあげよう。 ○相手に合わせて1・2の3でジャンプしよう。
態度	ルールが守れない	ルールやマナーを守っていない	チーム 個人	◎ルールやマナーを守ると、みんなが気持ちよくゲームができるね。 ◎声かけをかけ合うことでゲームが楽しくなったね。 ◎●●さんの声かけがみんなのルールやマナーの向上につながったよ。
		安全の配慮に欠ける	チーム 個人	○練習は相手や周りを見てしよう。 ◎安全に気を付けるためにチームにとらわれず声をかけあっているのがいいね。
	安全が守れない	(片付けや準備を含めて)次の活動まで時間がかかる	チーム	○チーム内で声をかけ合おう! ○チームで役割分担を考えて準備や片付けをしよう。 ◎素早く動けたからたくさん試合をすることができたね。 ◎●●君がすぐに準備に取りかかってくれたから、チーム力が高まったよ。 ◎そういう声かけはチーム力を高めていいね。
		自分やチームの課題をとらえられない	チーム 個人	○攻撃や守備の何がよくてチームの勝利につながったのかを考えて、伝えよう。 ○学習カードでチームのめあてをもう一度確認してみよう。 ○チームの攻撃や守備の特徴を学習カードから分析してみよう。 ○勝ったチームの攻撃や守備のよさを(考えて)自分やチームと比べてみよう。
思考・判断	チームの特徴に応じた作戦が立てられない	作戦を考えられない	チーム 個人	○チームのよさを伸ばしたり、課題を克服できたりするような具体的なめあてを考えよう。 ○相手チームのよさはどんなところ?相手チームのよさをとらえて自分たちのチームに取り入れてみよう。

